

No4280345

事務事業票

所管部長等名健康福祉部長山田忍

所管課・係名健康福祉政策課千丁健康福祉地域事務

課長名早木浩二

評価対象年度平成28年度

1 (Plan) 事務事業の計画									
事務事業名	千丁地域福祉保健センター管理運営事業			会計区分	01 一般会計				
				款項目コード(款-項-目)	4	—	1	—	1
施策の体系 (八代市総合計画に おける位置づけ)	基本目標(章)	1	誰もがいきいきと暮らすまち	事業コード(大-中-小)	1	—	31	—	21
	施策の大綱(節)【政策】	3	健やかに暮らせるまちづくり	総合戦略での 位置づけ	基本目標				
	施策の展開(項)【施策】	1	保健・福祉・医療の連携強化		施策大項目				
	具体的な施策と内容	2	地域福祉の推進		施策小項目				
事務事業の概要 (全体事業の内容)	地域住民の保健福祉活動の拠点として、温泉施設の運営や介護予防のための「やつしろ元気体操教室」、社会福祉協議会によるデイサービスなどを実施することにより、健康保持増進と福祉の向上を図っていく。 また、建物の健全な維持管理に努め、設備の点検や補修を実施する。								
実施手法 (該当欄を選択)	○ 全部直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● その他(指定管理制度導入 八代市社会福祉協議会)								
補助金事業該当	○ 補助金(主な補助先:								

2 (Do) 事務事業の実施									
評価対象年度の事業内容等									
対 象 (誰・何を)	地域住民、要介護高齢者、要支援高齢者								
	事業内容(手段、方法等)				成果目標(どのような効果をもたらしたいのか)				
	地域住民の健康保持増進を図るため、温泉施設の運営や「やつしろ元気体操教室」、社会福祉協議会によるデイサービスなどを実施し、福祉の向上を図った。 また、建物及び施設設備の老朽化が進んでいるので、設備の点検や補修を行い施設の維持管理に努めた。28年度は空調機器取替工事(前年度から一部繰越(15,754千円))を実施した。				・地域住民の福祉の向上や健康保持増進を図ることで、医療費や介護保険給付費の削減に寄与した。 ・建物の改修工事を行うことで来館者・歩行者等の安全を確保した。				
コスト推移			26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算	30年度見込	31年度見込	32年度見込
事業費(直接経費)			(単位:千円)	83,706	63,026	72,919			
財 源 内 訳	国県支出金								
	地方債								
	その他特定財源(特別会計→繰入金)		1,316	16,334	18,064				
	一般財源(特別会計→事業収入)		82,390	46,692	54,855				

		指標名	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
事業の活動量・実績の数値化	①	ディサービス受入可能人数		計画	-	3900	3900	3900	3900	-	
				実績	3164	2937	2825	2856	2580	-	
	②	開館日数		計画	-	309	309	309	310		
				実績	304	244	0	256	309	-	
	③			計画	-						
				実績						-	
〈記述欄〉※数値化できない場合											
		指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
もたらそうとする効果・成果の数値化	①	デイサービス利用者数	介護保険法の規定による通所介護及び介護予防通所介護の年間利用者数が多いほど、高齢者福祉の向上と健康保持増進に寄与する。	(のべ)人	計画	-	3380	3380	3380	3380	-
					実績	3164	2937	2825	2856	2580	-
	②	温泉センター入館者数	温泉施設は、地域住民の健康増進と憩いとくつろぎの場として、入館者数が多いほど、地域住民の福祉の向上と健康保持増進に寄与する。	人	計画	-	71380	-	57367	60000	
					実績	72846	58269	0	46015	52379	-
	③	温泉センター入館料	入館料収入が多いほど、経営状況改善に寄与する。	千円	計画	-	15300	0	15000	15000	-
					実績	15950	12512	0	12042	14966	-
〈記述欄〉※数値化できない場合											

3 (Check) 事務事業の自己評価		
着眼点	チェック	判断理由
◆事業実施の妥当性を備えているか ・事業の目的が上位政策・施策に結びつくか ・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	妥当である ● 概ね妥当である 妥当でない	通所介護事業については、高齢者が自宅において自立した日常生活ができるように必要な訓練を行い、健やかな生活を維持するために利用されてきた。温泉については、地域住民の健康増進と憩いの場として利用されている。ともに民間においても実施されているが、安価で衛生的な環境において実施されていることと多くの利用者に喜ばれていることから概ね妥当であると判断できる。
◆活動内容は有効なものとなっているか ・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか(成果をこれ以上伸ばすことはできないか)	有効である ● 概ね有効である 有効でない	施設は地域住民の寛ぎと憩いの場として福祉の向上と健康増進に寄与に一定の役割を担っているものの、近隣にも類似の温泉施設が建設されたこともあり、当初13万6千人を超えていた年間入館者数は約1/3に減少している。利用者増に対する取組の検討とともに、保健・福祉の向上を目的とした入浴施設のあり方について検討する必要がある。
◆実施方法は現行どおりでよい ・民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げずにコストを削減することは可能か ・目的や形態が類似、関連する事業との統合・連携によりコストの削減は可能か ・現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必要があるか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃止)	現行どおりでよい ● 見直しが必要	本施設は、29年度から1階部分が八代市公民館となったことから通所介護事業は廃止となった。 温泉施設については、現状を継続して実施する予定であるが、福祉目的としての入浴施設の必要性を検討する必要がある。

4 (Action) 事務事業の方向性と改革改善

今後の方向性 (該当欄を選択)	● 1 不要(廃止)	2 民間実施	3 市による実施(民間委託の拡大・市民等との協働等)
	4 市による実施(要改善)	5 市による実施(現行どおり)	6 市による実施(規模拡充)
今後の方向性の理由、改革改善の取組等	(今後の方向性の理由、改革改善の取組とともたそうとする効果など) 平成29年4月からパトリア千丁1階部分が八代市公民館となり、八代市千丁地域福祉保健センター条例に基づく地域福祉活動の推進に関する事業及びデイサービス事業は平成29年3月31日をもって廃止した。		

外部評価の実施		無	実施年度	
改善進捗状況等	H28進捗状況			
	H28取組内容			

決算審査に伴う常任委員会における意見等	特になし	(委員からの意見等)
---------------------	------	------------